

技術情報シート

1. 技術の名称	混合廃棄物リサイクル・システム (建設系混合廃棄物の残渣選別処理システム)
2. 技術の内容	建設系混合廃棄物残渣の高精度・リサイクル・システムである。 本システムの導入により、建設系廃棄物のリサイクル率が飛躍的に向上する。 半世紀以上にわたり培った知恵で、選別機器を中心とし破碎機器、造粒機器及び磁力選別機・金属検知器等の組み合わせによる、未来志向のリサイクルプラントの総合構築技術です。
3. 技術の概要	
技術の目的・用途、技術の特長、実績、価格	【技術の目的・用途】 当該技術の目的は、建設系混合廃棄物中の残渣(不燃性ガレキ)を粒度分別、比重差選別、磁力選別及び細粒物の高精度選別処理を行い、飛躍的に高いリサイクル率を実現する事にあります。 用途は、建設系混合廃棄物や解体現場発生混合廃棄物のリサイクル処理です。産業廃棄物中間処理設備の中核を成す、機械選別プラントの技術である。従来の機械処理や人手による選別が適わない、混合廃棄物残渣(細粒物)の選別処理によるリサイクル率の向上に供されている。 最近では、東北大震災時に発生した不燃性ガレキの処理設備として数か所で活用され、高い評価を頂きました。 【技術の特長】 当該プラントの実績例から、イメージ図を添付しています。 概略、次の通りのプロセスで処理しています。 1. 粒度選別により、大粒子を手選別処理 手選別処理の残渣は、破碎し細粒子に合流する。 2. 細粒子を高精度比重選別処理 重量物と軽量物に選別し、更に粒度分別により再利用可能な砂の採取を行う。 処理後のリサイクル物は次の通り。 1. 重量物： 砂として再利用 2. 軽量物： 可燃物化 3. 磁性金属： 金属として再利用 特筆すべきは、細粒物の選別処理技術である。他に類を見ない、明らかな特殊技術であり、安定的に大量な処理を可能としました。 イメージ図 構築事例

混合廃棄物リサイクル・システム

(建設系混合廃棄物の残渣選別処理システム)

設備全景



選別対象物写真



選別後の細粒砂



選別後の細粒砂拡大写真



同左拡大写真



選別後の軽量物



選別後の軽量物拡大写真



	【実績】循環産業事業者へ納入している。 首都圏を中心に全国で展開。特に東京臨海地区に大規模処理プラントを納入。その他、東北地区の震災被災地、数か所で採択されており、今後一層の期待がかかっています。 【価格又はその問い合わせ先】 プラント導入の初期費用は 200～1,000 百万円程度 事例 1： 建設系混合廃棄物向け、混合廃棄物中間処理設備 原料は 30mm 以下の粒径、投入量は 40 m³/時間の処理 ≒400 百万円 リサイクル率：85%～90% 事例 2： 震災被災地向け、不燃性ガレキ処理設備 原料は 100mm 以下の粒径、投入量は 25 m³/時間の処理 ≒220 百万円 リサイクル率：65%～75% 対象物の源泉や処理設備構築環境により差異があります。
4. 技術の分類	
①用途分類	産業系廃棄物処理
②対象廃棄物	建設廃棄物(残渣、解体混合残渣、廃木材等)、家電製品、蛍光灯、電子製品、携帯電話、自動車、電池・鉛バッテリー、廃タイヤ、その他
③提供役務	プラント建設、機械・機器販売、技術提携・供与、コンサルティング
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	アジア全域(輸出制限のない国に限る)、中東地域、カナダ、オーストラリア、北米地域
6. 検索キーワード	選別、リサイクル、廃棄物、産廃、都市ごみ、残渣
7. 問合せ窓口・担当者	原田産業株式会社 営業本部:原田 E-mail haradanaoki@haradasangyo.co.jp 吉川 E-mail Yoshikawa@haradasangyo.co.jp 営業本部: E-mail eigyo@haradasangyo.co.jp 営業部:植原 E-mail huehara@haradasangyo.co.jp 連絡:TEL:81-48-786-5555 FAX:81-48-786-5554